

VI 教育研究計画

1. 学校研究

(1) 研究主題

自分の考えを表現し、伝え合い 学びを深める算数授業

(2) 主題設定の理由

本校では、これまで3年間「算数科」の研究を進めてきた。昨年度は、「進んで考え、伝え合い、学びを深める算数授業」を主題に掲げ、研究に取り組んだ。新学習指導要領が全面実施となり、単位時間の授業設計に加え、より単元の理解を深めることや、「かわきた授業スタイル」をベースに単位時間の授業改善に取り組んできた。

その成果として、目標を明確にした授業づくりへの意識の高まりが見られている。また、目標達成の児童の姿を明確にもつことが、的確な指導や支援、評価につながることも実践の中から共通理解ができた。その一方で、単元の目標を具体的な児童の姿で単位時間に落とし込んでいくことの難しさや、児童の主体的な学び合いにはまだ至っていないという課題がみえてきた。また、昨年度は、実際の児童の姿をもとに実践を交流する機会が少なく、研究を十分に深めることができなかった。

そこで、今年度は、「学びの基盤づくり」をさらに充実させながら「本時の目標で貫かれた授業設計」を研究の中心におき、学びを深める算数の授業づくりに向けて研究を進めていきたい。適切な目標とその目標を達成した児童の姿を明確にして授業設計を行い、目標達成のために、学習課題や活動、ふり返りの工夫を行っていきたい。また、その中で、児童の学びを見取り、指導や評価に生かしていくことについても研修を積んでいきたい。

算数科を通して目指す児童像を全職員で目指していくために、学期ごとに検証しながら実践を重ねていきたい。そして児童が進んで学びに向かい、自分の考えを的確に表現し、友だちとともによりよい考えを求める姿を目指し、主体的・対話的な深い学びの実現に向けて授業改善に取り組んでいきたい。

【算数科を通して目指す児童像】

数学的な見方・考え方を働かせながら

- ・進んで学習場面から問題を見出し、自分の考えをもっている
- ・よりよい考えを求めるために、仲間とともに学び合っている
- ・知識・技能を身につけ、学びをいかそうとしている

(3) 研究の内容

<目標達成にこだわった授業実践>

①指導事項を明確に捉えた目標設定

- ・ 育成を目指す資質・能力を捉え単元目標を設定する

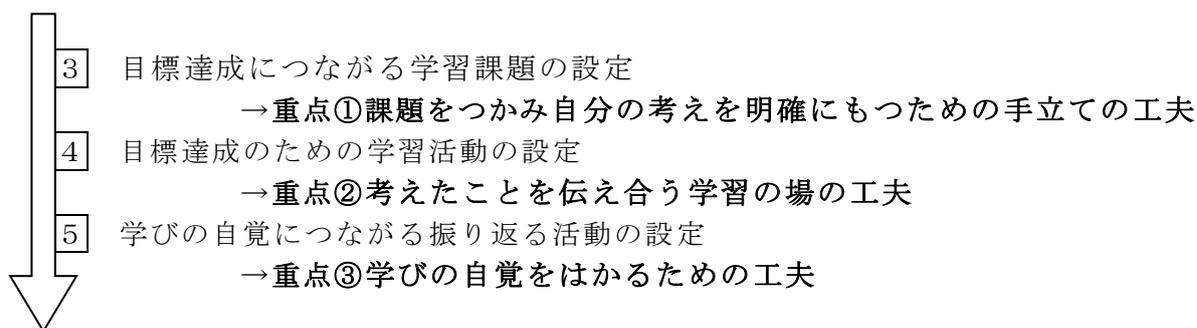
②目標を達成した児童の姿の想定

- ・ 単元の目標を達成した児童の姿を具体的に想定する。

③本時の目標で貫かれた授業設計

- ・ 適切な目標とその目標を達成した児童の姿を明確にする。
- ・ 目標達成につなげるための学習課題・学習活動・まとめ・振り返る活動を設定する。
(目標・学習課題・学習活動・まとめ等の整合性)

1 本時の適切な目標設定



2 本時の目標達成した児童の姿・評価規準の設定

④学びの見取りを生かした指導と評価の充実

- ・ 見取りと指導 学習課題を把握する場面
学数課題を解決する場面
学習課題についてまとめ、ふり返る場面

<学びを支える基盤づくり>

①学習環境・言語環境の充実

- ・ 児童の思考がつながる手出でとして、既習揭示を行う。
- ・ 児童が主体的に学び合うための、話す・聴く力の育成に取り組む。

②ICTを効果的に活用した指導方法の工夫改善

- ・ 主体的な問題解決のための効果的なICTの活用を進める。

③基礎基本の知識・技能の定着

- ・全学年共通問題集を使用する。
- ・朝学習やわかあゆタイムを有効に使い、基礎基本の定着を図る。
- ・学期末漢字・計算テストにより、基礎的な計算・漢字の読み書きの力をつける。

④家庭学習の習慣化

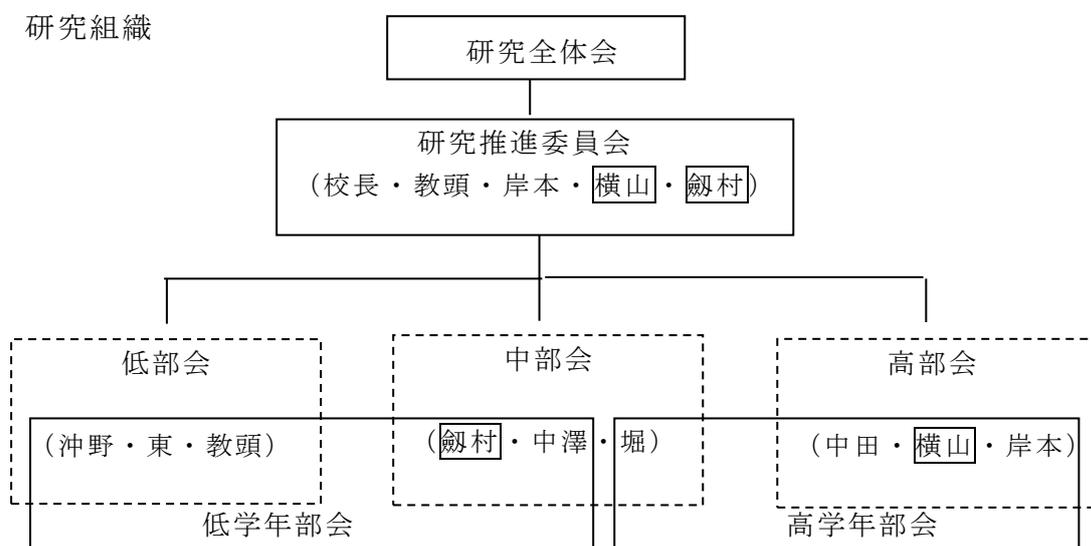
- ・家庭との連携を図り、家庭学習の習慣を身につける。
- ・家庭学習強化週間を学期に1回行う。

⑤良好な人間関係の育成

- ・生徒指導の三機能を生かした授業づくりを行う。

(4) 研究方法

ア 研究組織



イ 研究の進め方

- ・研究推進委員会は、校長、教頭、教務主任、研究主任、低学年高学年代表とする。
- ・部会は低部会(1・2年)中部会(3・4年)高部会(5・6年)とし、指導案検討や模擬授業を行う。
- ・各部会で1回研究授業、公開授業を行う。
 - 研究授業は全体で、指導案検討、授業協議会を行う。
 - 公開授業は各部会で、指導案検討、授業協議会を行う。
 - どちらも参観は全員とする
- ・授業後、成果・課題のレポートを作成する。
- ・計画的に先進校視察や他校の研究会などに参加し、研修報告会で成果を還元し校内研究に生かす。
- ・外部講師や指導主事を積極的に活用し、指導の向上をめざして授業改善に取り組む。

ウ 検証方法

- ・児童アンケートによる意識調査(児童アンケート項目2、3、4)
- ・職員アンケート(3つの重点を意識した授業づくり)